

令和4年9月29日

会 員 各 位

一般社団法人日本珪瑯工業会
会 長 高野 幸雄
技術委員長 荻谷 和彦



2022年度ほうろう加工技能検定試験開催のご案内

拝啓 初秋の候、会員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は日本珪瑯工業会に格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染対策のため、ほうろう加工技能検定実技試験は中止しましたが、コロナオミクロン株に対する政府の感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るWith コロナ方針もあり、感染拡大防止対策をして2022年度は下記の通り技能検定試験を開催することになりましたのでご案内申し上げます。

検定試験の概要は、学科試験を今年実施しましたオンライン方式の受験を継続します。実技試験は、試験会場の準備の都合があるため TOMATEC(株)小牧工場での実施を計画していますので、より多くの受験者に参加して頂きたく宜しく願い申し上げます。

敬具

記

試験概要

- ① 実技試験は、素地へのほうろう掛けが課題で、その方法として吹付け法（Wプレート）と浸漬法（いんろう蓋）の2種類とし、2級は吹付け法か浸漬法のどちらかを選択し、1級は吹付け法、浸漬法の両方を実施します。
- ② 学科試験は、2級はほうろう加工に必要な知識を中心に○X式問題50問とし、1級はほうろう加工だけでなく関連法規・品質管理を含む全般の知識を問う問題で、○X式問題20問及び選択式問題30問の計50問とします。なお、学科試験の問題は、「ほうろう加工技能教育ガイドブック」の中から出題します。
- ③ 技能検定試験は別紙「ほうろう加工技能検定試験実施要領」並びに「ほうろう加工技能検定運用規定」に基づき実施します。

添付資料

ほうろう加工技能検定試験実施要領
ほうろう加工技能検定実技試験受験申込書
ほうろう加工技能検定学科試験受験申込書
ほうろう加工技能検定運用規定（改訂版）

以上

令和4年9月29日

2022年度ほうろう加工技能検定試験実施要領

1. 実技試験

○日時： 令和5年2月18日(土) 9:00～17:00
受付 午前の部 8:30～、午後の部 12:30～

○場所： TOMATEC 株式会社小牧工場
受付 事務所 (2F 会議室)
試験会場 実験室 (1F)
住所 〒485-0081 愛知県小牧市横内 591
TEL 0568-76-4181

○募集人数： 吹付け法 10名
浸漬法 10名

注： 参加希望人数が募集人数を上回った時は、次回の試験をお願いする場合がありますのでご了承ください。

2. 学科試験 (オンライン)

○日時： 令和5年1月28日(土) 11:00～12:00

○会場： 受験者が所属する会社ごとに会場を決定する

○監視員： 各社ごとに1名立ち合い員を選任して頂き、日本珪瑯工業会事務局と各試験会場をオンラインで繋ぎ、試験経過の状況を共有し進めさせていただきます。

○備考： 監視員(若しくは担当者)は、日本珪瑯工業会事務局より送付します試験問題等の資料を受け取り、試験当日まで保管して頂き、試験当日開封して受験者に配布、受験時間(1時間)を公正にするため、日本珪瑯工業会事務局とオンライン(teams)で繋いで頂き、開始の合図と同時に、試験を開始し、回答を終えた受験者から試験問題、回答用紙を回収し、そのまま、日本珪瑯工業会事務局宛に返送して頂く事になります。試験開始前に受験の注意点の説明をお願いすることになりますので、お手数をお掛けすることになりますがご了解の程お願い致します。

次ページへ続く

○受験費用	：	実技試験	4,000円/人 (非会員 8,000円/人)
		学科試験	2,000円/人 (非会員 4,000円/人)

受験希望者は、別紙受験申込書（ほうろう加工技能検定実技試験受験申込書及びほうろう加工技能検定学科試験受験申込書）に必要事項を記入の上、日本珐瑯工業会事務局まで FAX または E メールにて 10月21日（金）までに返信してください。

尚、技能検定試験の規程につきましては、別紙「ほうろう加工技能検定運用規定（改訂版）」をご参照ください。また、受験者には追って受験票並びに技能検定試験の明細書及び受験請求書を送付しますが、事前確認を希望される方は、日本珐瑯工業会事務局までお問い合わせください。

一般社団法人日本珐瑯工業会

TEL 03-3623-2989

FAX 03-6806-5601

Email horor.or@nifty.com

事務局 野間新市

以上